

農林水産業功労者など 日野郡から2者が表彰されました

10月30日(月)、平成29年度鳥取県優秀経営農林水産業者等の表彰式典が知事公邸において行われました。

本県における農林水産業の発展とその技術向上や経営改善意欲の高揚を図るため、優秀経営農林水産業者などの6部門について、知事表彰するものであり、県内の46経営体等が表彰されました。

日野郡からは2者が表彰され、全員での記念撮影後、池田尚広さんから平井知事へトマトジュースを贈呈。奥大山プレミアム特別栽培米研究会の遠藤功会長とともに、農業の実践を通じた地域づくりについて、決意を新たにされました。



食を通じて人を育てる

【農林水産業功労者(園芸部門)】

いけだ たかひろ
池田 尚広 氏 (日南町茶屋)

準高冷地における水稲+野菜型のモデルとして、約40年の長きにわたりトマトの栽培に取り組まれています。

「池田さん家のおいしい完熟トマトジュース」で知られるように、農業の6次産業化でも先駆的な存在。日南トマト生産部長などの役職を歴任されるとともに、研修生の受入農家として、多くの新規就農者の育成に尽力されています。

コメント「食べることにより人は大きくなる。農業は命の源であり、なくてはならない職業。農業を通じて地域や新たな人材を守り育てていきたい。」



日本一美味しいお米作りに挑戦!

【いきいき農林水産業組織】

おくだいせん とくべつさいばいまいけんきゅうかい
奥大山プレミアム特別栽培米研究会 (江府町)

平成25年度に「全国レベルのブランド米作りへの挑戦」の呼びかけに賛同した生産者有志で設立された組織です。

栽培技術の向上と販路開拓に取り組み、「奥大山十七夜物語」などのブランド名で販売。全国規模のコンテストにおいて、本県産米として過去最高の成績を挙げるなど、江府町産米のブランド化に向けた活動を実践されています。

コメント「ブランド米作りの取組を通じて、担い手農家の育成や新規就農者の拡大など、中山間地農業の活性化につなげたいと思います。」

問 日野振興局 農業振興室 電話：0859-72-2005 F A X：0859-72-2011

県内トップ！日野郡除雪オペレーター 育成研修会が開催されました。



高齢化や過疎化により減少している除雪作業員を確保するため、県内で初めて、また全国的にも珍しい除雪オペレーターの育成研修会が、10月12日(木)、一般社団法人鳥取県日野建設業協会主催、日野郡3町と鳥取県で構成する鳥取県日野郡連携会議共催により開催されました。

午前の研修では、民間事業所の職員、行政関係職員など約60人が参加して机上研修が行われ、午後の研修では、事業所の若手職員21名が参加し、交差点内に雪を残さない除雪方法、マンホールなどの段差がある箇所での通過時の除雪方法など実際の除雪車の操作や、トラブル時の対応などについての実技研修が行われました。

道路の除雪作業は、大型、大型特殊免許などの取得後、習熟までに5年以上はかかるといわれています。

日野郡3町、鳥取県及び日野建設業協会では、今後とも、若手の除雪オペレーターを育成支援することとしています。

研修会の詳細は、以下のリンクを御参照ください。

鳥取県除雪機械運転手育成支援事業ウェブページ

<http://www.pref.tottori.lg.jp/267544.htm>

問 日野県土整備局 維持管理課
電話：0859-72-2047 (夜間、休日は72-0321)
F A X：0859-72-2092



自然保護監視員の活動について

鳥取県の自然保護監視員は自然保護行政の適正かつ効率的な実施のため、平成18年9月に設置されました。現在、県内では5名の自然保護監視員が活躍しています。日野振興センターの自然保護監視員の主な業務は次のとおりです。

- ・自然保護思想、自然公園を利用する際のマナーアップの普及啓発や、小学校を対象にした環境教育。
- ・傷ついたり、病気になってしまった野生鳥獣の保護。
- ・自然公園内の希少野生動植物の生息状況の調査等。

また、ホームページ「自然の宝箱(<http://www.pref.tottori.lg.jp/145929.htm>)」で活動内容や日野郡の自然に関する情報を発信しています。

地球上では、1年間に約4万種もの動植物が絶滅しているそうです。地域の皆様にも御理解や御配慮をいただき、このような状況を少しでも改善していけるよう、取り組んでいきます。

日野郡に自生する希少種(一例)



オキナグサ
(絶滅危惧Ⅱ類)

県内の日当たりのよい草地や畦畔などに自生



オニシモツケ
(準絶滅危惧)

県内でも多雪冷涼なブナ帯域の沢沿いに生息

問 日野振興局 地域振興課 電話：0859-72-2081 F A X：0859-72-2072

来年の「大山開山1300年」イヤーは 記念イベント盛りだくさん!



伯耆国「大山開山1300年祭」

来年は、奈良時代の718年に大山寺が開創されてから1300年の節目の年にあたり、大山周辺では、開山1300年を記念した特別なイベントが予定されています。

5月の大山寺での開創法要や御輿行列をはじめとして、7月以降は大山ゆかりの刀剣も展示する特別展や謎解き宝探しゲーム、美しい星空を楽しむ「星取県」大山フェスティバルなどを行います。

8月には「第3回「山の日」記念全国大会」が大山と米子市を主会場に開催され、秋には1300本のたいまつ行列や各種トレイル・ウォーキングイベントとともに、大山の魅力の集大成として「大山ワンダーフォーラム(「農と食のフェスタ」ともタイアップ)」を実施して、多くの方に大山の素晴らしさを改めて感じていただきたいと思います。

みなさんも、この記念の年に、ぜひ多くのイベントに参加して、大山の魅力を再発見してください。詳しくは、公式ホームページ(<http://www.daisen1300.org/>)を御覧ください。

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会 電話：0859-31-9371



「大山」(撮影場所：日野町明地峠)